

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成27年3月26日(2015.3.26)

【公開番号】特開2014-146251(P2014-146251A)

【公開日】平成26年8月14日(2014.8.14)

【年通号数】公開・登録公報2014-043

【出願番号】特願2013-15519(P2013-15519)

【国際特許分類】

G 06 Q 50/24 (2012.01)

【F I】

G 06 Q 50/24 130

【手続補正書】

【提出日】平成27年2月3日(2015.2.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ユーザに処方された医薬品に関する情報に基づいて、同一調剤日に複数の処方がある前記医薬品が、各処方での前記医薬品の処方日数が異なるか、各処方での前記医薬品の処方量が異なるか、または同じタイミングでの前記医薬品の服薬がある複数の処方があるかの何れかの条件を満たすかを特定する特定部と、

前記条件を満たす前記医薬品の各処方の処方日数の和を、前記医薬品の服薬日数として算出する服薬日数算出部と

を備える情報処理装置。

【請求項2】

前記特定部は、前記医薬品に関する情報に基づいて、前記医薬品の処方量が漸減または漸増していると特定された場合、前記条件が満たされるとする

請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項3】

前記特定部は、前記医薬品に関する情報に含まれる算定区分コードに基づいて、前記医薬品の処方量が漸減または漸増しているかを特定する

請求項2に記載の情報処理装置。

【請求項4】

前記特定部は、前記医薬品に関する情報に含まれる用法コードに基づいて、同じタイミングでの前記医薬品の服薬がある複数の処方があるかを特定する

請求項1乃至請求項3の何れか一項に記載の情報処理装置。

【請求項5】

前記特定部は、時系列に並ぶ前記医薬品の各処方の処方日数が漸減または漸増している場合、前記条件が満たされるとする

請求項1乃至請求項4の何れか一項に記載の情報処理装置。

【請求項6】

前記服薬日数算出部は、前記医薬品に関する情報に含まれる前記医薬品の所定の処方の付加情報から抽出された日付けが、前記所定の処方の直前の処方の調剤日と処方日数とから求まる、前記直前の処方についての前記医薬品の服薬終了日の翌日である場合、同一調剤日に複数の処方がある前記医薬品の各処方の処方日数の和を、前記医薬品の服薬日数と

して算出する

請求項 1 乃至請求項 5 の何れか一項に記載の情報処理装置。

【請求項 7】

前記服薬日数算出部は、前記医薬品の用法を示す情報から、前記医薬品の処方量の漸減または漸増に関する予め定められた文字列が検出された場合、同一調剤日に複数の処方がある前記医薬品の各処方の処方日数の和を、前記医薬品の服薬日数として算出する

請求項 1 乃至請求項 6 の何れか一項に記載の情報処理装置。

【請求項 8】

ユーザに処方された医薬品に関する情報に基づいて、同一調剤日に複数の処方がある前記医薬品が、各処方での前記医薬品の処方日数が異なるか、各処方での前記医薬品の処方量が異なるか、または同じタイミングでの前記医薬品の服薬がある複数の処方があるかの何れかの条件を満たすかを特定し、

前記条件を満たす前記医薬品の各処方の処方日数の和を、前記医薬品の服薬日数として算出する

ステップを含む情報処理方法。

【請求項 9】

ユーザに処方された医薬品に関する情報に基づいて、同一調剤日に複数の処方がある前記医薬品が、各処方での前記医薬品の処方日数が異なるか、各処方での前記医薬品の処方量が異なるか、または同じタイミングでの前記医薬品の服薬がある複数の処方があるかの何れかの条件を満たすかを特定し、

前記条件を満たす前記医薬品の各処方の処方日数の和を、前記医薬品の服薬日数として算出する

ステップを含む処理をコンピュータに実行させるプログラム。